

## 日経配当指数、12年の最終値 207円92銭、3年連続で上昇

日本経済新聞社が1日公表した日経平均・配当指数（2012年）の最終値は207円92銭となり、11年（192円03銭）に比べ8.3%上昇した。上昇は3年連続。日経配当指数は、日経平均の構成銘柄の配当金から算出する。3月末で12年分の配当額の支払額がすべて確定したため、最終値が決まった。

11年の指数に採用され、比較可能な構成銘柄のうち、増配した企業は73銘柄と、減配の39銘柄を上回った。指数の上昇に大きく寄与したのは、ソフトバンク（9984）とファーストリテイリング（9983）だった。

日経配当指数は暦年ベースで算出する。決算期が集中する13年3月期末の配当は6月の株主総会后に13年の指数値に反映される。

日経配当指数(最終値)

